

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	1-2-1		事業名	札幌市奨学金の拡充	
担当	教育委員会学校教育推進課 菅原・伊藤 Tel211-3851				
全体計画					
事業内容	能力があるにもかかわらず経済的理由によって修学困難な高校生、大学生等に奨学金を支給。市奨学金支給条例で、 ①札幌市民であること ②大学、高等学校、高等専門学校または専修学校(制限あり)に在学していること ③学資に乏しいこと ④学業が優秀で性行が善良であること の採用要件と支給額を定めている。 計画期間においては、市長公約である奨学生倍増に向けて、20年度から22年度までの採用人数を毎年180人程度増やし、22年度には奨学生を1,000人採用する。 また、「定時制高等学校の生徒」と「障がいのある生徒・学生」という新たな採用枠を設け、20年度から採用し、22年度には全奨学生1,000人に対して100人程度を採用する。 ○事業費については、計画期間中の採用人数増に係る事業費のみ計画に計上する(レベルアップ事業)。		＜年度別の事業内容＞		
			<ul style="list-style-type: none"> ・18年度採用人数 456人 ・19年度 レベルアップ分 0人 ・20年度 レベルアップ分180人 ・21年度 レベルアップ分360人 ・22年度 レベルアップ分540人 		
事業内容	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)		
	奨学生採用者数 463人(大学等95人 高等等368人) 奨学金支給額 34,473千円 採用者内訳 国公立大学 51人(3,772千円) 私立大学 44人(5,025千円) 公立高校 299人(18,742千円) 私立高校 69人(6,934千円)		奨学生採用者数 698人<171人>(大学等147<44>人 高校等551<127>人) 奨学金支給費 101,243<42,006>千円 採用者内訳 国公立大学 69<15>人(5,250<1,192>千円) 私立大学 78<29>人(8,841<3,426>千円) 公立高校 412<88>人(26,300<5,850>千円) 私立高校 139<39>人(14,049<4,074>千円) ※<>内の数字は全体事業のうち、本事業に係るレベルアップ分の数字。 なお、上記<>の数字のうち、新たに設けた定時制枠において11人、障がい者枠において4人を採用した。		
事業内容	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(予算)		
	奨学生採用者数 1,171人<362人>(大学等225<71>人 高校等946<291>人) 奨学金支給費 93,085<28,495>千円 採用者内訳 国公立大学 95<29>人(7,212<2,214>千円) 私立大学 130<42>人(15,376<4,998>千円) 公立高校 687<223>人(44,225<14,380>千円) 私立高校 259<68>人(26,272<6,903>千円) ※<>内の数字は全体事業のうち、本事業に係るレベルアップ分の数字。 なお、上記<>内の数字のうち、定時制枠において42人、障がい者枠において8人を採用した。		奨学生採用者数 1,315人<548人>(大学等254<108>人 高校等1,061<440>人) 奨学金支給費 101,243<42,006>千円 採用者内訳 国公立大学 97<40>人(7,278<3,020>千円) 私立大学 157<68>人(18,006<7,827>千円) 公立高校 802<346>人(50,270<21,760>千円) 私立高校 259<94>人(25,689<9,399>千円) ※<>内の数字は全体事業のうち、本事業に係るレベルアップ分の数字。 なお、上記<>内の数字のうち、定時制枠において60人、障がい者枠において60人を採用する予定。		
事業内容	※本計画に係るレベルアップ分としては0人であるが、全体事業としては18年度から7人増となった。				
・					
量					
・					
場					
所					
・					
規					
模					
・					
件					
数					
等					

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	1-2-1			事業名	札幌市奨学金の拡充																	
達成目標の状況																						
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)																
奨学金支給対象数	456人	463人	698人	1,171人	1,315人	1,000人																
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)																						
<p>■市民との連携、市民参加 ホームページ等で奨学基金への寄附募集のPRを行った結果、平成21年度は、遺贈による高額寄附も含め市民から19件451,764千円の寄附があった。</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力] ホームページ等で奨学基金への寄附募集のPRを行った結果、平成21年度は企業等から5件556千円の寄附があった。 [人材協力] (該当なし) [情報協力] (該当なし) [その他の協力] (該当なし)</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり 教育委員会のホームページ等に、奨学生の募集及び奨学基金への寄附募集について掲載し、奨学金制度の周知を図った。</p>																						
評価(成果)				課題																		
<p>制度について周知を図った結果、平成19年度に比べ、平成20年度は200人増の約1,200人、平成21年度は700人増の約1,700人の申し込みがあった。 なお、平成21年度の採用者は、第2次札幌新まちづくり計画及び平成20年度に新設した小竹正剛奨学基金に加え、現下の厳しい経済情勢を考慮した緊急経済対策として支給費を補正した分を合わせると、前年度より473人多い1,171人となった。</p> <p>平成21年度 札幌市奨学生採用者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">奨学基金分</th> <th>経済</th> <th>小竹</th> <th rowspan="2">合計</th> <th rowspan="2">応募者数</th> </tr> <tr> <th>經常分</th> <th>新まち</th> <th>対策分</th> <th>基金分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>435人</td> <td>362人</td> <td>186人</td> <td>188人</td> <td>1171人</td> <td>1686人</td> </tr> </tbody> </table>				奨学基金分		経済	小竹	合計	応募者数	經常分	新まち	対策分	基金分	435人	362人	186人	188人	1171人	1686人	<p>一般財源の負担を軽減するため、奨学基金への寄附募集についてリーフレットなどを活用して広く、個人や団体に向けたPR活動を推進することにより、計画的な寄附金の確保に努める。</p>		
奨学基金分		経済	小竹	合計	応募者数																	
經常分	新まち	対策分	基金分																			
435人	362人	186人	188人	1171人	1686人																	
今後の事業の予定・方向																						
<p>平成21年度において、小竹正剛奨学基金分及び緊急経済対策分の採用者を含めると、当該計画の目標である1,000人を1年前倒しで達成したことになるが、これらの採用拡大部分は当該計画の拡充(レベルアップ部分)に含めないことから、平成22年度も引き続き採用者を拡大することで、1,300人程度の奨学生を採用できる見込み。</p>																						

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		1-2-1			事業名	札幌市奨学金の拡充					
事業費の推移											
項目		19年度		20年度		21年度		22年度		計	
計画	事業費	0		14,583		26,103		36,314		77,000	
	財源内訳	国・道支出金	0		0		0		0		0
		市の債	0		0		0		0		0
		その他の	0		0		0		0		0
	一般財源	0		14,583		26,103		36,314		77,000	
予算	事業費	0		14,583		28,495		42,006		85,084	
	財源内訳	国・道支出金	0		0		0		0		0
		市の債	0		0		0		0		0
		その他の	0		0		0		0		0
	一般財源	0		14,583		28,495		42,006		85,084	
実績	事業費	0		14,542		28,495		-		43,037	
	財源内訳	国・道支出金	0		0		0				0
		市の債	0		0		0				0
		その他の	0		0		0				0
	一般財源	0		14,542		28,495				43,037	
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22予算事業費) / (計画事業費) 110.4%									
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)											
《全体》											
[19年度]											
[20年度]											
[21年度]											
[22年度]											